

# エネポ発電機EU9iGB簡易取扱説明

## 使用環境

- 外気温5℃～40℃
- 屋外で周囲1メートル以内にさえぎる物がなく風通しがよいこと。屋外であっても屋内に排気ガスが流入しやすい場所では使わないこと。排気ガスによる一酸化炭素中毒の危険を十分に回避すること。
- 平坦な場所で正立（縦置き）で使用ならびに保管すること。

※連続運転可能時間：定格負荷1.1時間（エコスロットル作動時）、1/4負荷2.2時間（エコスロットル作動時）

※毎月1回10分間試運転（電気器具をつないで使用できるか確認）して下さい。

## カセットボンベを取り付ける

- ①ボンベカバーを開ける。 ②口金部の汚れの点検



●カセットボンベを接続する口金部の汚れを点検します。泥や砂などの汚れが付着している場合は、綿棒などで口金部のリングを傷つけないように拭いて下さい。

- ③操作レバーを解除



- ④ボンベの差し込み



●カセットボンベの赤いラインが下側に来るようにし、先端から差し込みます。

- ⑤ボンベのセット確認



●カセットボンベを回転させ、回転が途中でとまれば、確実にセットされています。止まらずに回転してしまう場合は、セットしなおして下さい。

- ⑥操作レバーを固定に



●確実に固定できたら、ボンベカバーを閉じてください。

## 発電機を始動する

### 始動時の注意事項

- 水平な場所で縦置きにして始動をして下さい。横置きにすると本機は始動しません。
- 始動には、電気機器が本機に接続されていないようにして下さい。

①平坦な場所で縦置きにする。



※写真の状況が縦置きです。

②エンジンスイッチを停止から運転へ



●エンジンスイッチを「運転」の位置にします。

③始動グリップを引いてエンジンを始動



●始動グリップを静かに引き、重くなったところで止めます。次に矢印の方向に強く引っ張ります。始動グリップは手を添えてゆっくり元に戻して下さい。

※オイル/点灯警告灯が点灯し、エンジンがかからない場合は、エンジンオイルを補充してください。

④正常運転の確認



※エンジンが始動したら、ミドリのランプが点灯し続けることを確認して下さい。

### 電気機器の使用



●コンセントへ電気機器のプラグを差し込みます。

### 発電機を止める。

- ①電気機器のスイッチを切る。
  - ②プラグを抜く。
  - ③エンジンスイッチを「停止」位置へ
- ※緊急時は、最初にエンジンスイッチを「停止」の位置にして下さい。

# デンヨー携帯発電機GE-900B3簡易取扱説明

※燃料は必ず「イワタニカセットガス」を使用して下さい。

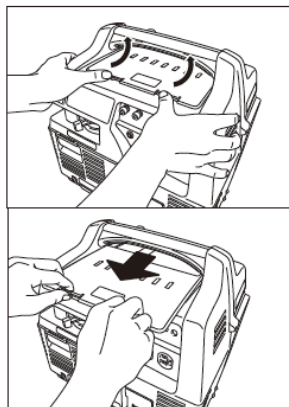
※運転終了後、運搬中は、カセットボンベを必ず取り外してください。

※定格連続運転時間：約1時間/ボンベ2缶（500g）

※毎月1回10分間試運転（電気器具をつないで使用できるか確認）して下さい。

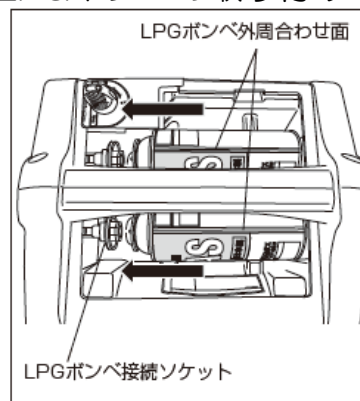
## LPGボンベの装着

### ①LPGボンベ収納カバーの取外し



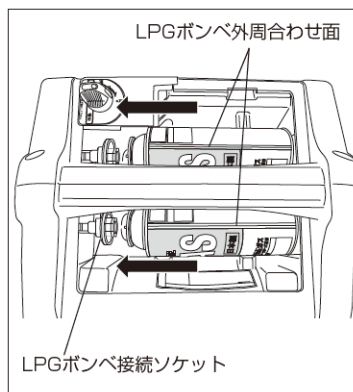
●LPGボンベ収納カバーの2箇所の詰めを押しながら上に上げ、手前に引抜取り外します。

### ②LPGボンベの取り付け1



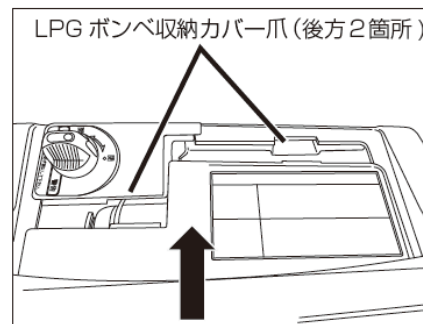
●LPGボンベの切込み凹部を下にし、ボンベケースに乗せます。  
※LPGボンベの外周の合わせ面がおおよそ真上に来ると、切り込み凹部が下になります。  
●LPGボンベをLPGボンベ接続ソケット側へスライドさせます。  
●LPGボンベ切り込み凹部LPG接続ソケット凸部に合わせながら、LPGボンベをLPGボンベ接続ソケットへスライドしてください。

### ③LPGボンベの取り付け2



●LPGボンベをLPGボンベ接続ソケットに押し込み、その状態のままLPGボンベの「GAS」の文字が見える方向にLPGボンベを回します。（右方向約30度）

### ④LPGボンベ収納カバーの取り付け



●LPGボンベ収納カバーを手前からスライドさせて、LPGボンベ収納カバー後方2箇所の爪が確実に、発電機カバーにかかっていることを確認した後、前方2箇所の爪を押しながらLPGボンベ収納カバーを取り付けます。

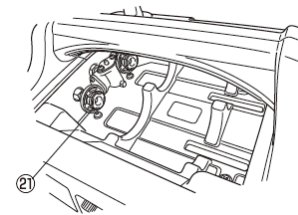
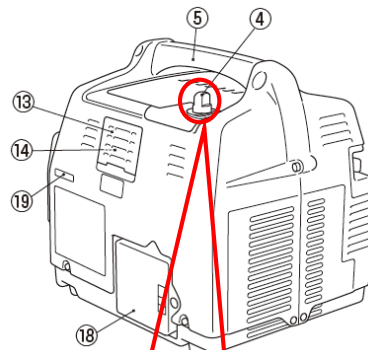
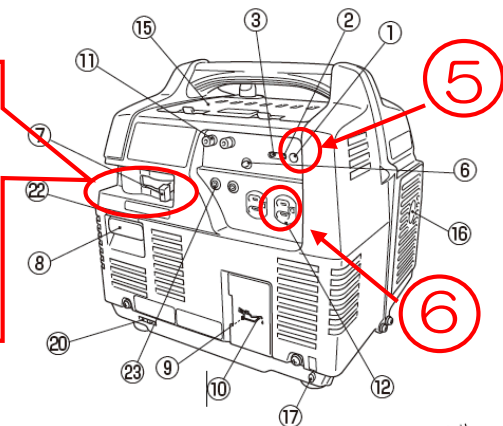
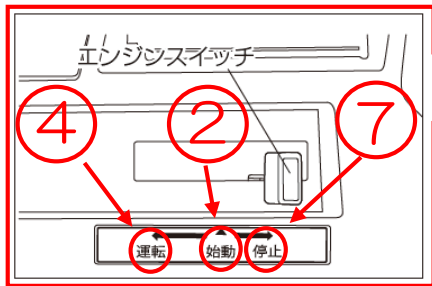
## ※保管の際の注意事項

●引き続き運転しない場合は、LPGボンベ収納カバーを取り外し、LPGボンベを取り外してください。（LPGボンベを取り外したあとは、LPGボンベ収納カバーを取り付けて下さい。）

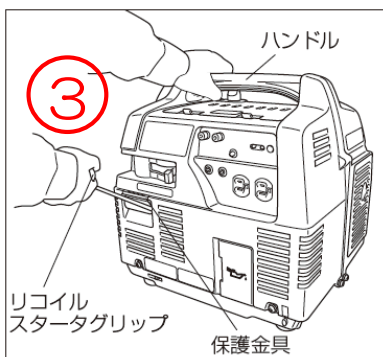
●配管内の残留ガスを使い切るため、LPGボンベを取り外したまま、燃料コックを「開」の位置にした状態で、エンジンを始動してください。

●ガス欠でエンジンが停止した後に燃料コックを「閉」の位置に、エンジンスイッチを「停止」の位置にします。





## 発電機を始動する

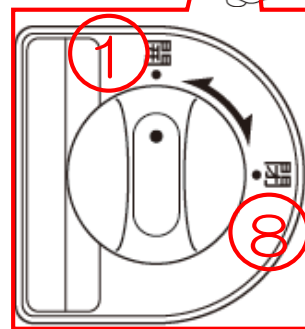


①燃料コックを開の位置にします。  
②エンジンスイッチを始動の位置にします。エンジンが暖まっているときは運転の位置にします。

③リコイルスタータグリップを軽く引き出します。  
リコイルスタータブリップが重くなった状態から勢いよく引きエンジンを開始します。

※しばらくの間暖機運転をします。(約2分)

④エンジン回転数が安定したらエンジンスイッチを「運転」の位置にします。



- ①出力ランプ
- ②過負荷ランプ
- ③オイルセンサーランプ
- ④燃料コック
- ⑤ハンドル
- ⑥直流プロテクタ
- ⑦エンジンスイッチ
- ⑧リコイルスタータグリップ
- ⑨オイルフィルターキャップ  
(オイル注入口)
- ⑩オイルメンテナンスカバー
- ⑪直流ターミナル
- ⑫交流コンセント
- ⑬スパークプラグメンテナンスカバー
- ⑭スパークプラグ
- ⑮LPGボンベ収納カバー
- ⑯排気口
- ⑰アース端子
- ⑱エアクリーナ
- ⑲形式、製造番号表示ラベル
- ⑳周波数切替スイッチ
- ㉑LPGボンベ接続ソケット  
(圧力安全弁機能付き)：35頁参照
- ㉒保護金具
- ㉓並列運転端子：12頁、22頁参照

## 電気機器の使用

⑤出力ランプが点灯(緑)していることを確認します。

●使用する電気機器の電源スイッチがOFF(切)になっていることを確認します。

⑥使用する電気機器のプラグを交流コンセントに差し込みます。

●使用する電気機器のスイッチをいれます。

## エンジンの停止

●電気機器の電源スイッチをOFF(切)にします。

●電気機器のプラグを交流コンセントから抜きます。

⑦発電機のエンジンスイッチを停止の位置にし、停止させます。

⑧燃料コックを閉の位置にします。